

マリンリーブシート工法〈防火水槽漏水対策工法〉

NETIS掲載終了
KK-140004-A

老朽化した防火水槽の漏水をシャットアウト

●特長

1. 安全性

大地震で本体が仮に損傷してもそのまま数年間は水を保持し続けます。KCガードは水槽形状に合わせて工場で製袋し、漏水検査のうえ出荷されます。全国で新規も含めて約1300基の納入実績。漏水事故等の報告はありません。

2. 工期短縮

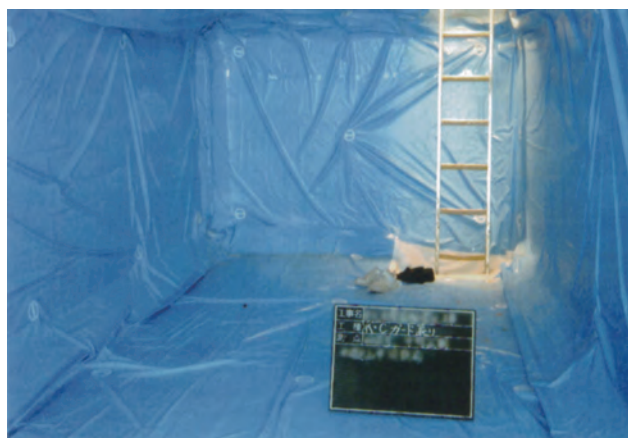
従来の補修工法（樹脂ライニング工法）と比較して工期を約60%短縮。※NETIS申請情報より

3. 経済性

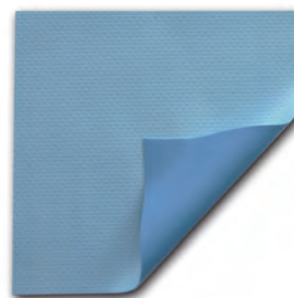
費用は新設と比較して約3～4分の1程度です。

4. 水質悪化防止

バクテリアの異常繁殖による水質悪化を抑制するための抗菌シートを使用。



▲「KCガード」セット完了



マリンリーブシート工法のシート「KCガード」の素材は、耐候性、耐水性、耐アルカリ性に優れる多層特殊樹脂シートです。地震災害や老朽化などで既設の防火水槽に損傷が発生していてもしっかり水を保持するために生まれました。水槽内壁面の形状に合わせてオーダーメイド製袋しますので、取り付け後は水槽形状と一体化した二重防水構造となり、防水性をより確実なものにしています。

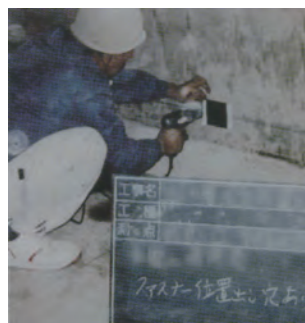
施工手順



1 水槽内の水の汲み出し



2 清掃及び採寸
藻等が躯体に付着している場合は
高圧水等で洗い流します。



3 面ファスナー取付・不陸調整



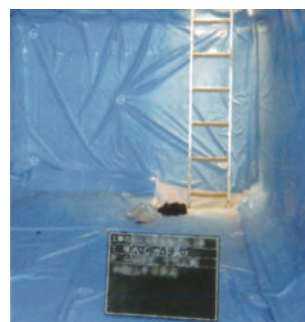
4 面ファスナーセット完了



5 緩衝シートを貼付け



6 リーブシートをセット



7 リーブシート貼付け完了



8 仕上げ作業
(固定金具で投入孔のシートを固定)